

参考文献
「60 秒言葉の
セラピー」
黒田クロ



2024年11月29日第15号
西南中生徒指導部通信
文責 松浦



前号は前期終業式前に発行でしたので、約2ヶ月ぶりの通信発行となりました。随分と怠けてしまい、申し訳ありませんでした。その間に西南文化の日や授業参観、様々な研究授業が行われ、行事を通して成長していく生徒たちの姿が見られました。授業参観の時に、私が生徒座席の隣に立ち、ワークシートをのぞき込んでみると、それに気づいたのか、その生徒は、私が見えやすいように、そつと横にずらしてプリントを向けてくれたのでした。その心遣いと優しさにとても感動したところでした。

さて、三年生は共通テストの結果が出て、進路希望調査を提出した上で、今週月曜日から三者教育相談でいろいろなアドバイスを受けて、自分の進路を定めていっているところだと思えます。

そんな中で、毎日の勉強において、「人から与えられた勉強」をしている人と、「自分でやろうと決めた勉強」をしている人は、質も結果も大きく異なることでしょう。

三年生にとっては、自分の目指す道、進むべき道を自分で決めて動き出す...というのは初めてという人が多いかもしれません。しかし、みなさんのこれからの人生なんて、実は「進路」、「就職」、「結婚」、「教育(子育て)」、「キャリアアップ」、「老後」...等々、自分で選択・決断していくことの連続です。(昔のCMで、「人生は選択だ」というコピーが流行りましたね。)

大人の人は、人生の決断は、自分で決めているものなのです。そして人は自分が思った方に人生を歩み、その決断が正しかった

ただ、と胸を張って言えるように、一生懸命頑張り、人生を歩んで行っているのです。

逆に、自分で決めたものが何もなく、目の前の利益だけに走る人は、易き(やさき)に流れてしまうもの(楽で簡単な方向へと流れてしまうという意味)です。

五年後や十年先の、自分の将来を見据えて、考えて行動する人は、案外迷わず、心が定まるものです。

選択・判断に迷ったら、十年先、どんな自分でいたいのか、どんな自分になっていたいか(自分の在り方)...、ちよつと先の未来を考えるといいかもしれませんね。

何故かという、人は終わりが見えないと、

頑張りきれない生き物だからです。(私自身もそうです。)

先の見えない、たくさん量の勉強は辛いもの。

終わりの見えない、小さな仕事は、気持ちが入らないもの。

「何のため」か分からない練習は、頑張れないもの。

毎日の繰り返しが必要なときは、

「とりあえず、きょうはあそこまで」と自分で線を引くと、頑張ることが楽しくなります。

ただ、「今日はあそこまで」と、今日の線を自分が引けるようになるためには、自分自身が最後の行き着くところ(ゴール)が分かってないといけません。そうでない、「そこ」(ゴール)に向かうための、今日は「ここまで」という線が引けないのです。だから、

「思うことは大事、行うことは大切」なのです。

五年後、十年後の自分やゴールを想うことは大事。そのために現実を見て、大切なことを大切に行う。

半年後、三年後、十年後、.....。

物事を想う大事さと

物事を行う大切さが

見えてきた自分があることでしょう。